



地域に通う、心を通う、課題解決型 ラーニングツーリズム ～来訪者と地域住民が守り育てる 第2のふるさと～

地域名：京都府南丹市美山町

実施主体：一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会

実施地域について

人口約3,400人

京都駅から
約2時間



事業概要

事業概要

持続可能な観光の取り組みが国際的評価も受けた人口約3,400人の京都府南丹市美山町全域を学習のためのキャンパスとし、教育機関を新たな観光のターゲットとし、来訪者をまちづくりの協力者（準住民）と捉えて、何度も通うことで学びを深める地域密着の課題解決型ラーニングツーリズムを実施することで再訪、移住に繋げる。本事業では特に**旅アトコンテンツ造成に注力**する。R4年度事業で明らかになった、「地域行事への参加」の高いニーズに応えるため、**茅刈り等の地域内の活動を来訪者も参加できるように、地域振興会と連携してコンテンツ化し地域への「関わりしろ」や地域住民との偶発的な出会いを創出**する。

本事業のターゲット

メインターゲット：京阪神在住の観光やまちづくり、環境保全等を学ぶ学生（20代・グループ・組織の枠部みの中で来訪）
 サブターゲット：京阪神、東京近辺地域在住で、観光、まちづくり、環境保全等に関心があり、地方就職や移住を検討している個人（20～30代）



実施体制

(一社)南丹市美山観光まちづくり協会(実施主体)：事業統括/市場調査等
 京都大学芦生研究林：情報発信/モニター実習実施協力
 神戸大学国際文化学研究所:戦略策定/情報発信/モニター実習実施協力
 京都ホテル観光ブライダル専門学校：モニター実習実施協力
 美山ふるさと株式会社：滞在環境整備/モニターツアー企画実施
 知井振興会：合意形成及び受入 南丹市：合意形成

取組内容

①再来訪を促す要素・仕組みづくり（初来訪のきっかけづくりを含む）
 教育機関の研修等のために来訪する学生等を対象にした、地域密着型のラーニングツーリズムを磨き上げ、地域への理解を深めるための仕組みとして、旅前のオンラインセミナーやWEB記事発信を行う。
 特に、本事業ではR4年度事業を活かし、研修後の地域との関わりしろとして、茅刈りや雪かきなど**担い手不足が深刻になりつつある地域行事を地域住民との交流を楽しめる課題解決型体験コンテンツとして造成・提供**することに注力し、別途実装予定のCRMを運用し、研修参加者を中心とした再来訪率を検証する。
 旅ナカにおいて、ゆるやかな地域住民との交流を創出する仕組みとして、地域コーディネーターを育成し、若年層が地域に愛着を持ち、継続的に関わる仕組みを構築する。これらの取り組みを通して、地域との継続的な交流を促進し、「何度も地域に通う旅、帰る旅」の普及・定着を図る。

②反復継続した来訪を促進するための滞在・移動環境の実証
 地域事業者等と連携し、農作業やイベント業務補助の対価として、割安な滞在費用で**中期滞在可能なプログラムを造成**。地域DMOや観光コンシェルジュが全体をコーディネートし、滞在場所での地域住民との交流の場も創出する。

今年度事業の目標・KPI

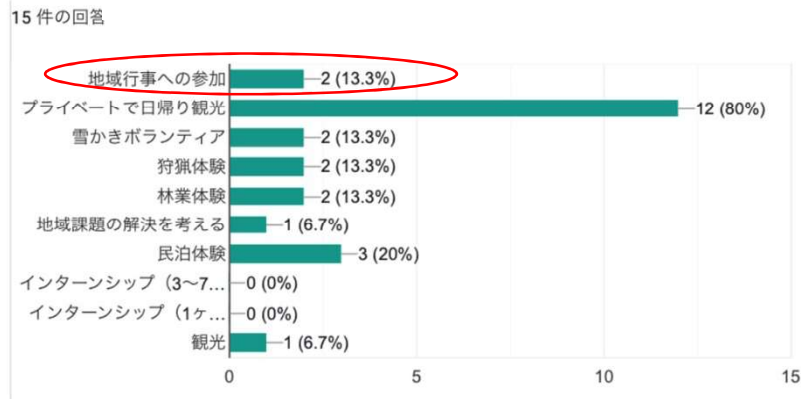
- ・参加者満足度 大変満足、やや満足、満足の回答者85%以上
- ・来訪者が参加可能な地域行事や農作業プログラム 3本企画、実施
- ・美山観光コンシェルジュを新たに5名養成
- ・関係人口を創出し、農村景観や伝統文化を維持し、地域活性化を図る。

R4年度参加者アンケートより

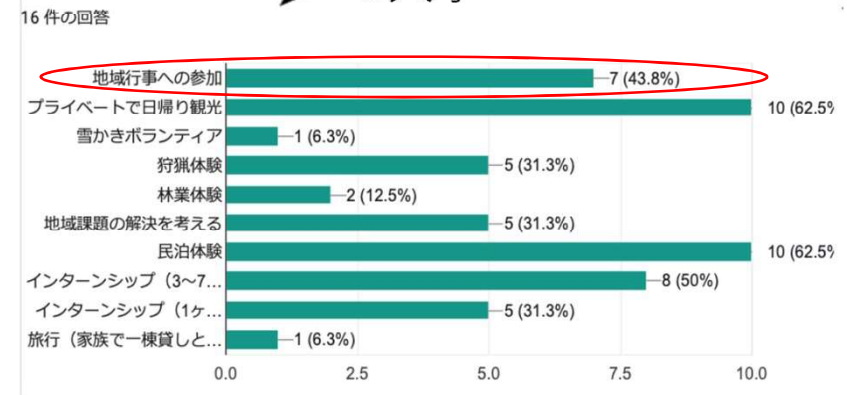
再訪希望形態として
「地域行事への参加」
が観光に次いで2位

「また美山に再訪したいと思いますか?」の設問で5以上を選択した方は、
どういった形で再訪したいですか? 当てはまるもの全てを選択してください

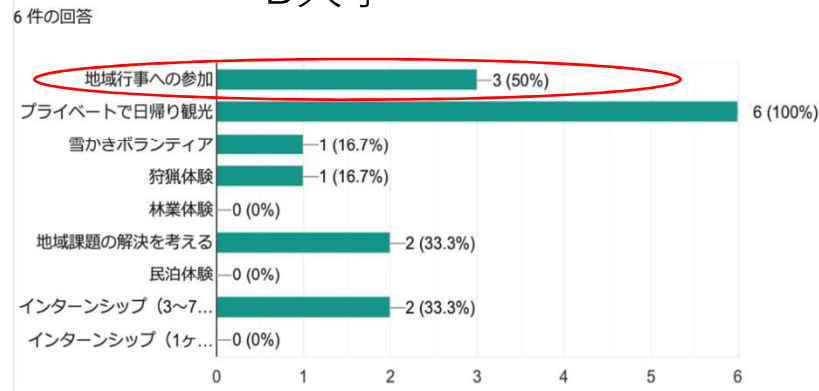
A大学



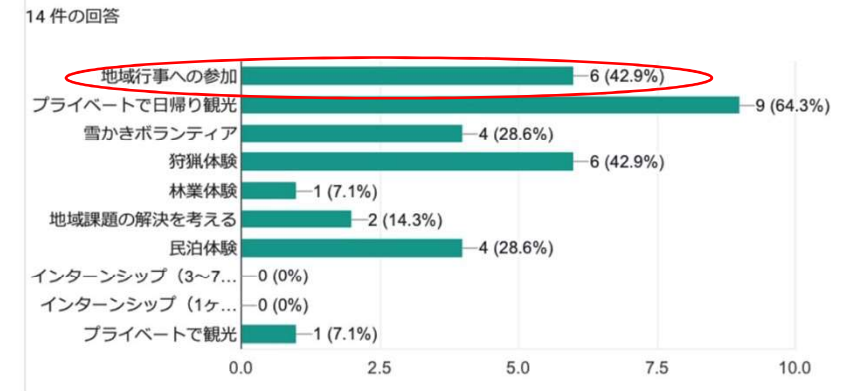
C大学



B大学



D大学



旅アト事業 雪灯廊サポーター



実施期間：1月26~28日(2泊3日)

定員：10名程度

募集方法：美山ナビに募集ページ作成+これまでの参加者にLINE通知

滞在先：田歌舎

参加費：9,900円(税込) 食費実費相当分

内容：美山かやぶきの里で開催される”美山かやぶきの里雪灯廊”の運営サポートを行う。



旅アト事業 活動内容



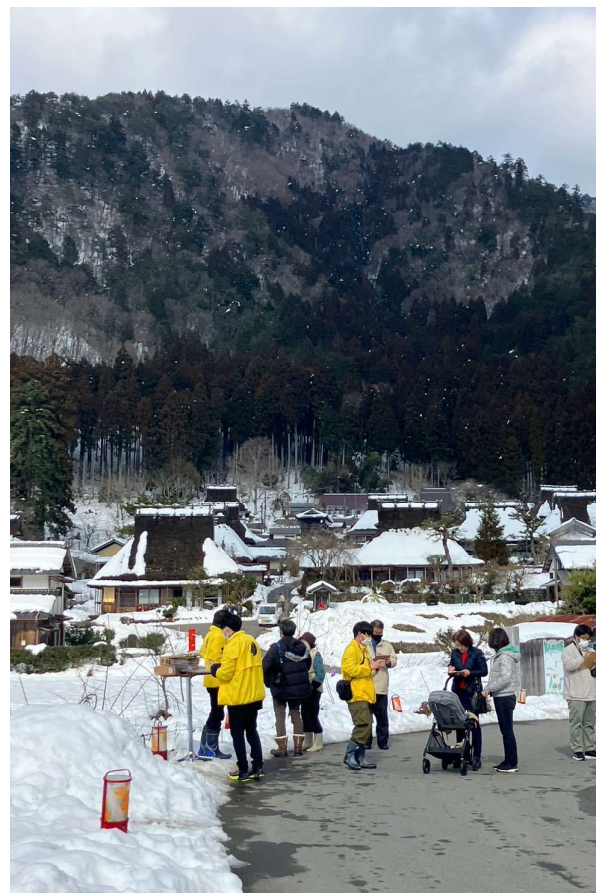
地域の方から業務説明



雪灯籠体験受付



除雪作業



観光動態調査



実証事業を通して起こしたい状況

旅マエ



事前学習ツール作成
WEB記事公開
オンライン研修

↓
地域への理解を深める
地域の課題を知る
心理的距離を縮める



旅ナカ



美山観光コンシェルジュ
の活用

田舎暮らし体験
地域住民へのインタビュー
地元ガイドのツアーに参加

↓
来訪者と地域の関係性を深める
地域への愛着を深める
新たな地域課題を発見する



検証する仮説

教育機関の研修等のために美山町を訪れる学生等を対象に、
地域への「関わりしろ」や地域住民との偶発的な出会いを創出することが、
来訪者の再来訪促進につながり、
持続可能なまちづくりに一定寄与する



旅アト



- ・地域行事にお客様としてではなく、**地域の一員として参加**
- ・農作業補助など地域貢献をしながら中期滞在
- ・CRMを運用し、情報周知



↓
「何度も地域に通う旅、帰る旅」の普及・定着
持続可能なまちづくりへの寄与



濃度・深度にマッチした関係人口データベースを構築 琴平町観光マーケティング実証事業

—香川県仲多度郡琴平町—

2023年12月4日

株式会社地方創生(代表主体)

1. 事業概要

2. これまでの実施内容

3. 12月以降の実施

4. 旅アトから再来訪・関係人口へ繋ぐプロセス

1. 事業概要

〈検証する仮説〉

町内のヒトや企業との交流を通じた、**関わりしろ創出プログラム**を造成することにより、関係人口の増加と地域経済の活性化に取り組むとともに、**オンデマンド交通 (mobi)** や**中長期滞在者向け宿泊施設を整備・活用**することで、リピーターづくりに繋がるのではないかと。

〈取組概要〉

「一生に一度はこんぴらさん」から「何度も訪れたい町、琴平」をテーマに、来訪者を交流人口→関係人口→共創人口へと昇華させるべく、来訪前のイベントで期待感を醸し、体験型コンテンツや地域課題解決ワークショップによる地元事業者との交流機会を経て、互いを熟知した濃厚な人間関係を築く。そして、地元事業者**に「複業兼業」で関われる仕事や新規プロジェクト、町の「ボランティア活動」等の関わりしろ情報、来訪者のスキルや経験、町への想い等のデータベースを蓄積**する。



〈実施体制〉

■代表主体
(株)地方創生

■実施主体
琴平バス(株)、(株)TABIPPO
(株)パソナJOBHUB、TRAPOL(同)
+ α モニターツアーアクティビティ
提供事業者

2. これまでの実施内容

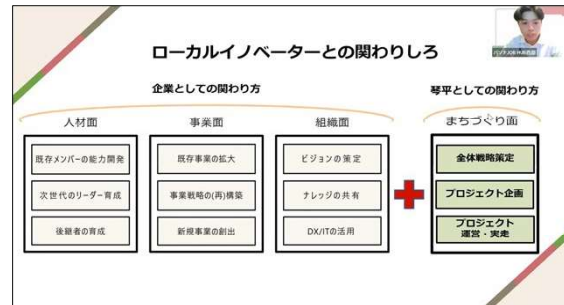
① 「複業×ワーケーションツアー」(ターゲット：首都圏在住の会社員、フリーランス、経営者等)

■旅マエオンラインイベントの実施

オンライン説明会

「好きがコトひらく町、香川県琴平町で
「地域の未来をつくる複業の旅」
に出かけませんか？」
10月4日(水)
19:00-20:30
無料オンライン説明会

株式会社 藤井 義二 氏
株式会社 KONPIRA DROP STORIES 池 龍太郎 氏
株式会社 地方創生 パワJOB HUB 近江 淳 氏
株式会社 パワJOB HUB 細野 頌子 氏



10月4日(水)19:00~20:30

〈実施内容〉

- ・琴平町の魅力のご紹介
- ・キーパーソンによるトークセッション

事前講義 (参加決定者向け)

チェックインイベントの目的

フィールドワークに向けた事前準備

- ・琴平町の取り組みについての理解を深める
- ・フィールドワーク後の流れを理解し、自身がフィールドワークで知りたいことや、今後関わりたいことについてイメージを深める

株式会社KONPIRA DROP STORIES

こんな人を求めています！

- ・船の可能性や商品開発についての提案をしてくれる方
- ・「こんなことが出来るんだ！」というような、自分では思いつかない視点からのアイデアを提案してくれる方

10月23日(水)19:00~20:30

〈実施内容〉

- ・参加者同士の自己紹介
- ・ツアー訪問企業のインプット
- ・フィールドワーク後の流れ説明

■モニターツアーの実施



11月10日(金)~11日

〈参加人数〉10名

〈実施内容〉

- ・事業者との意見交換
- ・事業者へのアイデア提案
- ・町内のイベント参加&懇親会

2. これまでの実施内容

② 「観光×若者層のコミュニティ」(ターゲット：大学生)

■旅マエオンラインイベントの実施

事前講義(参加決定者向け)



10月18日(水)19:00~20:00

〈実施内容〉

- ・参加者同士の自己紹介
- ・ツアー訪問先のインプット

■第1回モニターツアーの実施



10月27日(金)~29日(日)

〈参加人数〉

15名

〈実施内容〉

- ・琴平町の人や生業を体験するワークショップ実施
- ・地域で開催中のイベントへの参加
- ・町内の方々との懇親会
- ・mobiで移動体験

2. これまでの実施内容

③地域交通「mobi」の実証

■モニターツアーでの利用

これまでのモニターツアーの中で、ツアー行程に組み込まれた訪問先だけでなく、自由時間に好きな場所に行ってもらい、利用者からの声を収集。※下記は学生向けツアー(10月)のデータ

▼使用回数□自由時間□

- ・平均□回程度の利用

(集合場所に□□□□で来るなど、使いこなす参加者もいました)

▼どんな人と交流したか

(□□□□の車内で地元の人と話した、商店街で出会った人と話したなど)

- ・□□□□で町長と乗り合い、会話した
- ・ツアー訪問先の事業者と数回遭遇して会話した

■利用者の声(アンケート抜粋)

- ・町中に呼べる場所があり、アプリも簡単に使えたので使いやすいとは思った、呼んでも来るまでに時間がかかるのが少し気になった点、**他の観光客はあまり利用してないか存在を知らないように感じた。**
- ・運転手の方も気軽に話しかけてくれて、安全運転で、不安要素はとくになかった。
- ・mobiがあることで**観光できる量が格段と増えた。**乗り合いな点も**地域の人とのコミュニケーションの場になるのでとても良かった。**
- ・乗り放題のシステムがもう少しわかりやすく表記されていたら、観光に来た人も便利に利用できると思う。



3. 12月以降の実施内容

モニターツアーの実施

■ 学生向け第2回モニターツアーの実施



12月8日(金)～10日(日)

〈参加予定人数〉

15名

〈実施予定内容〉

- ・ 琴平町の人や生業を体験するワークショップ実施
- ・ 地域で開催中のイベントへの参加
- ・ 町内の方々との懇親会
- ・ mobiを活用した郊外農業体験

■ 地域課題解決型法人向けワーケーションツアーの実施

カーボンニュートラルなまちづくり

琴平町 町長
片岡 英樹

関西電力
ソリューション本部 開発部門
ゼロカーボンソリューショングループ
熊代 知暢

日時：12月13日(水) 19:00～20:30
場所：てんてこ舞い 2F (香川県仲多度郡琴平町 717)
※駐車場は HAKOBUNE ビル (旧 Kotori) 前をご利用ください
定員：30名 どなたでもご参加いただけます

参加費無料

12月13日(水)～15日(金)

〈参加予定人数〉

12名

〈実施予定内容〉

- ・ 各事業者が抱える地域課題や今後の可能性に関してディスカッションする場を設ける
- ・ 住民や地元事業者参加型のトークイベントを開催

4. 旅アトから再来訪・関係人口に繋ぐプロセス

関係人口濃度



プロジェクトマッチングサイト

琴平への深い関心やスキルを持った人を「複業」「ボランティア」などの文脈で繋げる役割。利用者登録をすることでサイト上で募集しているプロジェクトにオファーが出来る。地域のコミュニティの一員であるという自覚を高め、地域に役に立つ、感謝されることに喜びを感じ、主体性を高める。

LINEオープンチャット

フィールドワーク参加者同志の情報交換など、開放的で緩やかな関係性の構築に活用し、「関わり続けることができる仕組み」をつくる。

公式LINE

琴平に関心のある方向けに一方向的な情報の提示。最もハードルが低く、間口が広い。



※写真はイメージです。現在作成中。

関係性や地域参画の深化

3. 旅アトから再来訪・関係人口に繋ぐプロセス

プロジェクトマッチングサイトについて

町内事業者



日ごろ出会えないような人材と一緒に、自社の経営課題の解決や、新たなチャレンジに取り組める！

- 蓄積するデータ
- ・「複業兼業」で関わられる仕事
 - ・新規プロジェクト
 - ・ボランティア活動等の関わりしろ

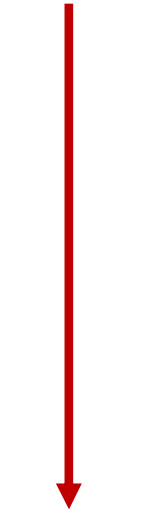
来町者



地域の方との協働体験で、新しい自分に出会えたり、自分のスキルを活かせる！地域とつながり、新たな居場所を作れる！

- 蓄積するデータ
- ・スキルや経験
 - ・興味や関心事
 - ・町への期待、思いなど

マッチング



3. 旅アトから再来訪・関係人口に繋ぐプロセス

旅アトに再来訪者を繋ぐプロジェクトの例①

交流・宿泊拠点「HAKOBUNEビル」

■どんな場所？

長年使われていない空きビルを改修し、『アーティスト & クリエイター-inレジデンス』を整備している。

ビルを起点に人々が交わり関係を築いていける

”案内所“としても運営。ビル内にカフェを併設して交流の場を増やしたり、アーティストが滞在する居住用フロア（ゲストハウス）を設け、より地域との関係を深めやすい環境づくりをしていく。



大学生

■ツアーを経ての感想(複数名回答)

- ・自分の好きとできることを掛け合わせた空間や、施設を創り出すことをしていたお店の方がとても魅力的に感じました。
- ・**考え方・生き方が興味深いな**と思った。
- ・ハンドメイド等マルシェと一緒に企画してみたい！
- ・ビル改修のお手伝いをしたい！



想定するマッチングプロジェクト：ビルづくりのお手伝いプロジェクト

■背景

HAKOBUNEビルは運営メンバーだけでなく、ビルづくりに参加するとの関わりしろを持ちながら、常に発展し続ける場。「つくる過程」の最中であるHAKOBUNEビルに、それぞれの形で関わり、一緒に企みやワクワクをつくっていける拠点に。

■関わり方：アルバイト※滞在中はゲストハウスに宿泊

■内容

- ・ビル改修のお手伝いや、ゲストハウスの清掃のお手伝い
- ・他、イベントの企画等



3. 旅アトから再来訪・関係人口に繋ぐプロセス

旅アトに再来訪者を繋ぐプロジェクトの例②

日本最古の飴屋さん「池商店」

■どんな場所？

創業1245年。金刀比羅宮の境内で販売が特別にゆるされている加美代飴を店頭にて販売している。その他、飴を使ったスイーツや飲み物を提供。四国の魅力を伝えるオリジナル商品も多数取り扱っている。



複業人材 K氏(50代・男性)

■スキル・経験

・ブランドマネージャー、商品企画、広告プランナー、パッケージデザインディレクション

■琴平町で実現したいこと

・地元企業や事業者さんが持っている、製品やサービスのタネをカネをかけないマーケティングで、強みを輝かせて売上アップさせる。
・単に売上アップだけでなく、**事業者さんが持続可能な仕組みづくりを行い、ブランドとして育成したい。**



複業人材からの提案プロジェクト：加美代飴の新しいストーリーづくり

■背景

700年を超える加美代飴。その中で新しい歴史を創ろうとして、チャレンジを続ける池社長に共感。新しい飴のストーリーを一緒に創りたい。

■関わり方

複業(現地、またはリモート)

■内容

- ・池商店、加美代飴のブランド化
- ・飴、デザート、飲料新商品開発



ご清聴ありがとうございました。

〈検証する仮説〉

下呂市がもつ魅力（温泉、豊かな自然、温かい人や文化）を「チルアウト」のコンセプトでつなげ、「定期的に身体も心も癒しをもらえる場所」「自分を見直しに帰る場所」として、「非日常」ではなく「日常の延長線」として滞在価値を提供し、再来訪につながるかを検証する。

〈取組概要〉

「①再来訪を促す要素・仕組みづくり（初来訪のきっかけづくり含む）」として「チルアウト」のコンセプトに沿ったモニターツアーを新設して実施すると共に、受入側のスタンスをより磨くためのコンシェルジュ研修やLINE（昨年度の第2のふるさと事業の中で構築したもの）を活用したマーケティング、ロイヤリティプログラムによる再来訪促進を実施。

「②反復継続した来訪を促進するための滞在・移動環境の実証」として、地域に暮らすように滞在する場所として地域一体でゲストを受け入れる体制を作ると共に、下呂市エコツーリズム推進全体構想にのっとった「道路運送法に基づく旅客自動車運送事業の許可」を活用する取組を実施。

〈実施体制〉

- ・一般社団法人下呂温泉観光協会 ・下呂市
- ・下呂温泉旅館協同組合 ・飛騨小坂観光協会
- ・南飛騨馬瀬川観光協会 ・萩原町観光協会
- ・下呂市エコツーリズム推進協議会
- ・株式会社ライドシステムズ
- ・株式会社リクルート

テーマ	日程	参加者数	費用負担	ターゲット
モニターツアー	馬瀬地区：10/14～15、11/11～12 萩原地区：10/14～15、11/18～19 小坂地区：10/21～22、11/11～12	のべ24人 (申込数107人)	参加者は現地までの交通費を負担	20代～30代女性 (愛知県在住)
ロイヤリティプログラム	11/1～12/24 (実施中)	のべ約220人	参加者は現地までの交通費を負担	20代～60代女性・男性
コンシェルジュ研修	10/10	15人	なし	モニター実施事業者

今年度実証事業において判明した課題と解決策

※中間報告会で課題を抽出し、対策を練り2回目のツアーに改善を行った。

〈課題〉

- ①ゲストとホストの関係性をより深くする必要性
- ②ゲスト同士（参加者全員）の関係性もより深くする必要性
- ③地域の方との接点、町の魅力を自然な形で伝える必要性

〈解決策〉

- ①②ネームコーリング効果を高める為、自然な形でお互いを名前で呼びあうことを意識する。ゲストとホストが分断しないよう食事の際の席に配慮したり、郷土料理を一緒に作るなど交流型の体験プログラムを取り入れる。
- ③地域のお店に立ち寄りたり、プログラムに地元の方を招き入れ自然な流れの交流の場を設ける。

現時点で対策方法が見つからない課題

地域内で「道路運送法に基づく旅客自動車運送事業の許可」について研修会を行い、今回のモニターツアーで実証したが、最寄り駅と体験場所の1対1の関係性でしか事業者の送迎ができない。そのため、地域の中でいくつかの拠点をめぐる場合は、交通事業者を巻き込む必要性があり地域事業者の運営では実現できる滞在プランの限界が実証された。

モニターツアー

下呂の馬瀬・萩原・小坂の3地区で、10月と11月に同じ参加者を招いたモニターツアーを実施。星空の中でのキャンプや森林ヨガ、大自然のサウナや地元農家と地元シェフとのプログラムなど各地域の特徴を生かしたチルアウトのコンテンツを用意。モニターツアーを通して地域の人とのコミュニケーションの場（一緒に体験・郷土料理作りなど）を積極的に作った。1回目のツアー後にはモニター参加者のアンケートをベースとした振り返り会を実施し、2回目のツアーに向けてブラッシュアップをかけ、更に関係性を深くするポイントなどをツアーに設計した。それにより、モニターツアー終了後に事業者と参加者、参加者同士がSNS等で繋がるなど再来訪のきっかけを自然につくる事ができた。



コンシェルジュ研修

地域を訪れてくれた人をどう受け入れれば下呂のファンになっていただけるのか、参加者との「共感接点をどう作るか」というホストとゲストの関係性作りの他、自地域内だけでなく、周辺地域やステイクホルダーとなる事業者とどう連携をとるかについて、ワークショップ形式での研修を実施。参加者全員の満足度100%で、人と人がつながる「共感接点」の重要性を学んだ。

●コンシェルジュ研修の様子

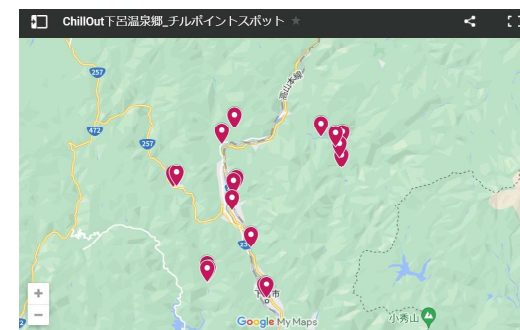


●研修内容をツアープログラムにも導入した様子



ロイヤリティプログラム

下呂市内に20か所のチルポイントを設定し、現地に設置したQRコードを読み取るとポイントを付与できる仕組みをLINEで構築。ポイント数に応じて、温泉湯めぐり手形や温泉宿泊割引券をプレゼントすることで次回の再来訪につなげる取組を実施。のべ約220人が参加し、中には10スポット以上周遊する利用客も存在。下呂温泉以外の地域も複数設置することで周遊促進につながった。プログラム終了後、参加者に対し再来訪以降などをヒアリングするアンケートを実施予定。



●LINEの拡張機能を活用したロイヤリティプログラムの実施

「チルアウト」が体験できるスポット（下呂市内20箇所を選定）にキャンペーン専用のQRコードを設置し、LINEで読み取るとポイントを獲得できる。獲得した数のポイントに応じた特典を付与し、再来訪のきっかけを提供し、下呂市の継続的なファン化につなげる。
特典内容：下呂温泉の宿泊券・下呂温泉の湯めぐり手形とし、もう一度下呂市に足を運ばないければ利用できないもとの特典とした。

▼「チルアウト」が体験できるスポットに設置するPOP例

LINE ポイントを集めて下呂温泉の宿泊割引券をGETしよう！

下呂温泉郷チルポイントキャンペーン実施中

参加無料

Chill Out 下呂温泉郷
チルポイントキャンペーン

下呂市内の「チルスポット」で「LINE ポイント」をゲットすると下呂温泉で使える
1万円分の宿泊券などが当たるキャンペーン実施中。

下呂市の自然と人との触れ合いを通じて
Chill Outな休日をお過ごしください。

キャンペーン期間：12月24日のLINE ポイント獲得分まで
4ポイントGET：下呂温泉湯めぐり手形（先着160人）
8ポイントGET：下呂温泉宿泊割引券1万円分（先着80人）
賞品引き換え場所：下呂市観光交流センター湯めぐり館（岐阜県下呂市森1075-3）

STEP1
ChillOut 下呂温泉郷
公式アカウントをお友達登録

STEP2
本キャンペーン用
LINE ポイントGETはこちら！

*チルポイントプログラムの賞品は数に限りがございますので先着順で在庫がなくなり次第終了となります。
*チルポイントが取得可能な有効期限は2023年12月24日まで、賞品の引き換えは2023年12月27日までとなります。

▼ポイントキャンペーン開催時のLINEのリッチメニュー



▼LINE画面のイメージ



▼下呂市内の各スポットをGoogleMAPに反映し下呂市内のチルスポットに移動しやすいように整備した。



●LINEの拡張機能を活用したロイヤリティプログラムの実施

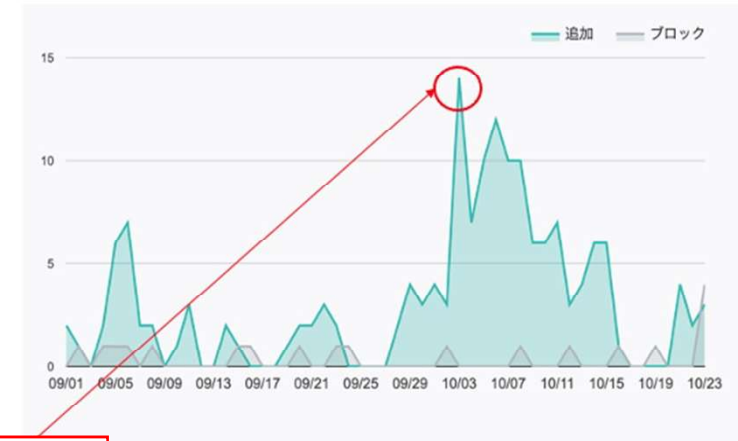
▼チルスポットごとの
QRコード読み込み（のべ来訪者）数

	チルスポット	獲得数
小坂	1 がんだて公園	16
	2 中川原キャンプ場	22
	3 小坂なりバーベキュー	26
	4 Mina Base	32
	5 ふれあいの森	28
	6 道の駅はなもも	35
	小計	159
馬瀬	1 野原ミュージアム	39
	2 スパー美輝	64
	3 フィッシングセンター水辺の館	28
	4 清流ふれあい会館	31
	5 さんまぜ工房	33
	小計	195
萩原	1 延命水	70
	2 水神の水	38
	3 鹿塚の水	10
	4 南飛騨健康増進センター	66
	5 久津八幡宮	88
	6 禅昌寺	70
	7 諏訪神社	77
	小計	419
下呂	1 噴泉池	91
	2 下呂市観光交流センター	104
	小計	195
	合計	968

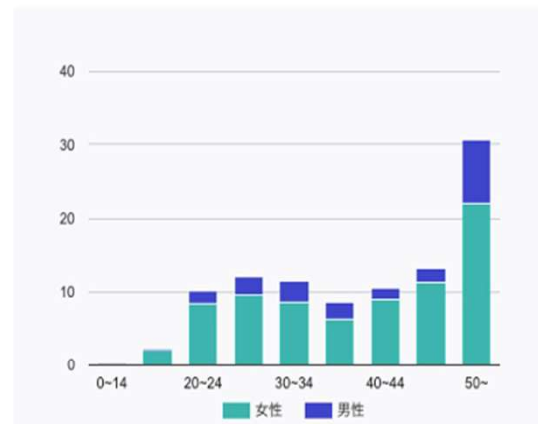
友だち総数 : 2510



選択中の友だち追加経路 友だち追加URL・QRコード・ボタン



チルポイントキャンペーンの開始とともに公式LINEの登録ユーザーが増加



●友だちの属性

昨年と比較すると20代・30代の比較が増加。チルアウトというテーマに反応する世代と言える。また圧倒的に女性の登録者が多いのが特徴。

ランク	地域	割合
1	愛知	45.5%
2	岐阜	25.4%
3	東京	11.4%
4	不明	8.0%
5	三重	2.6%

●今後の動き

12月24日まで開催しているチルポイントキャンペーンの参加者に対して、アンケートを実施予定。今回のキャンペーンをきっかけに、下呂温泉以外の地域への初来訪につながったか、また下呂市への再来訪につながったか等を調査。またステップを経由して、登録者の思考や興味のタグ付けを行っており、それにより今後の情報発信の精度の向上につなげロイヤリティを高めて行く。

江の川 なりわいブートキャンプ

in江津(有福温泉編) / 11月10日~12日

in温泉津(島根県大田市) / 12月1日~3日

(一社)江の川・さくらライン観光推進機構

東京から一番
遠いまち



ここにしかないものは何か？

in江津

11月10日~12日

参加者:21人

小さな町に息づく「生業」を感じるとともに、生業づくりに挑戦する魅力的な人々に触れる旅。



廃校、地域をキャンパスに見立て、13の授業・課外授業を用意。

旧小学校跡地の活用

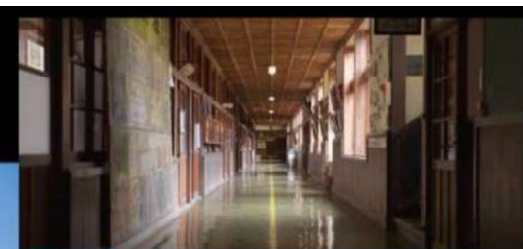
《ベースキャンプ地》

02

Campus 1

旧跡市小学校 [江津市跡市町6-3-2]

築70年余りの平成29年に廃校した小学校。現在は自治体の利用の他、里山こども園わたぼうしなど民間団体も利用している。



旅ナカの様子



旅アトへの 仕掛け



5年後のあるべき姿の共有と具体的なプロジェクト案のプレゼン

継続して来訪する
仕組みを作り、江
の川流域へ拡張

【旅ナカ】

プロジェクトアイデアとリーダーの発掘

- ・ ブートキャンプを通じた問題意識の深堀
- ・ 価値観の交換、体験の共有 → 関係性構築

【旅アト】

プロジェクトを推進するコミュニティの育成

- ・ ブートキャンプで生まれた“なりわいプロジェクト”ごとに
- ・ 何度も江津、温泉津を訪れる仕掛け



コミュニティをDAOへ移行

なりわい会議 in江津の発足

日時:11月28日 20時~22時/参加者:21人

 SUKIMONO	 肥後淳平/エブリプラン	 飯田ゆき	 盆子原 拓
 Kasai Hinako	 Kanakano Ishizaki	 トツイ	 グリーン山田
 Taka Goetze-Kudo	 おの なるみ	 奈濱斗	 GO-CON参加へ
 林日南子	 日野結美	 川本珠子	 原田佳那
 伊藤憲幸	 あだち ゆみこ	 大石 有彩	 香奈 石橋

in温泉津

12月1日～3日

参加者:50人

「温泉津」を舞台に生業づくりに挑戦する
ヒト・想いに触れる2つのツアー



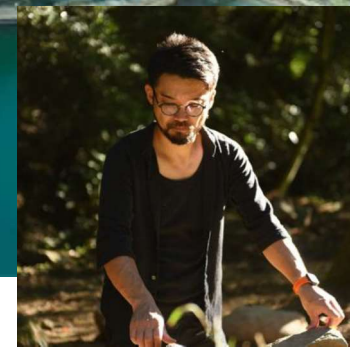
- ① ローカル創業移住起業体験ツアー
- ② 里山再生体験ツアー

温泉津温泉の 概要



世界遺産石見銀山エリアの小さな温泉地
温泉町としては国内唯一の重要伝統的建造物群保存地区

観光よりも感動をスローガンに域内リソースの見直し&最適化
石見神楽をブラッシュアップ
アルベルゴ・ディフーズ（泊食分離）による地域内連携
DAO（分散型自立組織）スタイルのローカルコミット



旅ナカの様子

①



空家・空店舗・創業現場訪問後、各人による事業計画書作成&ブラッシュアップ

旅ナカの様子

②



成果と 旅アトの展開

